



# ナマズの知恵袋

平成25年(2013年)10月1日  
編集・発行 滋賀県立図書館

## 机上で楽しむ鉄道旅行

たまにはゆっくり列車の旅を楽しみたいけれど、浮世の事情でままならない…とお嘆きの方に図書館からお勧めしたいのが、「机上で楽しむ鉄道旅行」。時代も場所も思うがまま、色々な資料を取り揃えてお待ちしています。

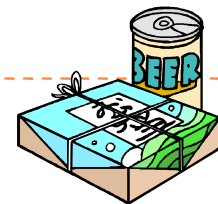


「昔々を旅してみたい」というあなたには、まず『明治大正時刻表 復刻版』(新人物往来社 1998年 2-6865-1~11)と『時刻表復刻版 戦前・戦中編』(日本交通公社 1978年 2-6865-1~8)『時刻表復刻版 戦後編』(日本交通公社 1977~2002年 2-6865-1~7)を。前者は日本初の月刊時刻表である『汽車汽船旅行案内』を、後者は月刊の「JTB時刻表」を復刻したものです。また、『満洲朝鮮復刻時刻表 附台湾・樺太復刻時刻表』(新潮社 2009年 3-6865-2)といった変わり種もご用意しています。駅名や線名は、『停車場変遷大事典 国鉄・JR編 1・2』(日本交通公社出版事業局 1998年 R-6862-7)でご確認をお忘れなく。

続いて「どの列車に乗ろうか?」とお悩みの方は、『国鉄・JR特急列車100年』(三宅俊彦著 JTBパブリッシング 2012年 G-6862-3)、『国鉄懐かしの特急列車』(猪口信著 新人物往来社 1999年 2-6862-1)、『時刻表でたどる特急・急行史』(原口隆行著 JTB 2001年 3-6862-8)、『東海道線の名列車』(イカロス出版 2005年 G-6862-10)、『新・名列車列伝』(寺本光照著 JTB 2003年 3-6862-7)、『20世紀なつかしの国鉄特急列車』(広田尚敬写真 山と溪谷社 2000年 2-6862-7)等を参考にされてはいかがでしょうか。今はもう存在しない、のどかで雅な列車をご覧くださいませ。

さて、路線も列車も決まったら、次は「旅の小道具」を。『国鉄乗車券類大事典』(近藤喜代太郎著 JTB 2004年 R-6865-3)には、明治5年から昭和62年までに発行された乗車券類が、ほぼ完全に収録されています。『国鉄きっぷ全ガイド』(近藤喜代太郎著 日本交通公社 1987年 2-6865-3)、『鉄道きっぷ博物館』(築島裕著 日本交通公社 1980年 2-6865-7)も併せてどうぞ。そして、忘れてはいけないのが駅弁。古いところでは『駅弁日本一周』(早川書房 1963年 2-5964-1)や『駅弁パノラマ旅行』(千趣会 1964年 2-5964-7)、情報量の多さでは、『最新駅弁全線全駅 71路線 360駅 1610種類全国駅弁完全カタログ』(主婦と生活社 1983年 2-5964-9)などがあります。戦前の駅弁に興味のある方には、『ノスタルジア・駅弁掛け紙コレクション』(東京都北区教育委員会 2011年 GB-6751-1)、『駅弁掛け紙ものがたり 古今東西日本を味わう旅』(上杉剛嗣著 けやき出版 2009年 G-6865-9)もお勧めです。

さあ、あとは出発を待つばかり。ここはひとつ、「鉄道唱歌」でも口ずさみながら出かけましょう。明治33(1900)年に『地理教育鉄道唱歌』(国書刊行会 1987年 2-7675-1~5)の名称で発表された歌の他に、昭和に入ってから鉄道省が編纂した『新鉄道唱歌 第1輯~第10輯』(国書刊行会 1987年 2-7675-2)もあります。『全国各駅停車の旅 鉄道唱歌とともに』(三輪要編著 金園社 1977年 2-2910-3)や『鉄道唱歌の旅 東海道線今昔』(原口隆行著 JTB 2002年 G-7677-8)もぜひ一緒に。



# 滋賀の鉄道あれこれ

## 東海道線ことはじめ

滋賀県における鉄道工事は、日本鉄道史においても重要な出来事となっています。明治13年(1880)6月28日に大津～京都間を開通した逢坂山トンネルは、日本初の山岳トンネルであり、初めて日本人技術者だけで完成させた工事です。また、明治22年(1889)7月の湖東線(大津～長浜間)の開通により、東京(新橋)～神戸間が鉄道で結ばれ、東海道線全線開通となりました。『京都滋賀鉄道の歴史』(田中真人[ほか]著 京都新聞社 1998年 S-6800-98)には、逢坂山トンネル、湖東線についてそれぞれ章立てされています。また、鉄道開業100年を記念して発行された『日本国有鉄道百年史 全19巻』(日本国有鉄道編刊 1969年 2-6862-)は、鉄道史の集大成ともいえる資料です。

また、次のような資料も所蔵しています。

- ・『近代日本と鉄道史の展開』(宇田正著 日本経済評論社 1995年 S-6800-95)
- ・『日本の鉄道創世記』(中西隆紀著 河出書房新社 2010年 S-6800-10)
- ・『大津の鉄道百科展』(大津市歴史博物館編刊 1998年 SB-6811-98)



## 京阪電気鉄道・近江鉄道

『関西私鉄比較探見』(広岡友紀著 JTBパブリッシング 2010年 S-6811-10)、『京阪電車車両の100年』(京阪電気鉄道 2010年 SB-6806-10)、『近江鉄道コレクション』(彦根商工会議所事業委員会編集 国宝・彦根城築城400年祭実行委員会 2007年 SB-6800-07)は写真やイラストが豊富です。なかでも、『週刊歴史でめぐる鉄道全路線 no.18 京阪電気鉄道』、『同 no.29 近江鉄道』(朝日新聞出版 2010-11年 SB-6800-10・11)は、年表や車輛、沿線風景、運行路線図などさまざまな角度から各鉄道の魅力を紹介しています。

## 覚えていますか?江若(こうじゃく)鉄道

江若鉄道は、昭和44年(1969)に廃線となるまで約50年にわたり活躍してきました。『ありし日の江若鉄道』(大津市歴史博物館編刊 2006年 SB-6810-06)では、沿線の写真や案内図などをもとに当時の姿を振り返ります。『江若鉄道車輛五十年』(同書編集スタッフ編 鉄道史資料保存会 1978年 5-5310-78)、『レイル no.84 江若鉄道』(エリエイ 2012年 SB-6810-12)は、車両の変遷に注目して編集されています。

## 近江デジタル歴史街道でも

昔の沿線案内や交通地図がご覧いただけます。デジタルアルバム帖の過去の特集には「湖国の鉄道網～戦前鉄道資料を中心に～」がUPされています。

<http://www.shiga-pref-library.jp/wo/da/search/>



## 駅・沿線のように 路線や車両、駅の案内から沿線の情報まで、旅行気分で見られます。

- 『日本鉄道旅行地図帳 全線・全駅・全廃線 8・9号 関西1・2』(新潮社 2008-09年 S-6808-08,09)  
名駅舎100選や車両基地一覧、蒸気機関車運転地図、鉄道保存施設など紹介されています。
- 『中部ライン 全線・全駅・全配線 第5巻』(講談社 2010年 S-6800-10)  
米原駅から加賀温泉駅までの北陸線と湖西線がとりあげられています。配線図や先頭車から見た駅付近の写真や駅スタンプ、周辺の名所、駅弁から駅そばまで楽しい情報が多く掲載されています。  
北陸線の変遷や、かつて計画があった「琵琶湖・若狭湾快速鉄道」についての特集があります。
- 『東海道ライン 全線・全駅・全配線 第5・6巻』(講談社 2009年 S-6800-09)  
第5巻は名古屋駅から米原、第6巻は米原から大阪までがとりあげられています。『中部ライン 第5巻』と同じ内容ですが、特集は京都～大津間ルートの変遷です。
- 『全国鉄道旅行繪』(今尾恵介解説 けやき出版 2011年 S-6811-11)  
関東・関西の私鉄を中心に選ばれた絵図が集められています。「東海道沿線旅行案内図」(昭和5年 三省堂)や、県内の鉄道路線がすべて描かれた「大津市鳥瞰図」(昭和10年 吉田初三郎・画)が載っています。

はたして謎は  
とけるのか…